

音楽をつくりあげる場を体感「感じるオーケストラ」

第141回 オーケストラ定期演奏会 公開リハーサル

7月18日(木) 18:15~(予定)

会場：本学講堂大ホール

チケット：全席自由 / 無料

指揮：準・メルクル

管弦楽：国立音楽大学オーケストラ

後援：立川市教育委員会



©Tey Tak Keng

第141回オーケストラ定期演奏会に先立ち、準・メルクル招聘教授の指揮によるオーケストラのリハーサルをご鑑賞いただけます。
詳細は本学公式 Web サイトをご確認ください。



©CH Fotodesign

準・メルクル Jun Märkl (指揮)

ミュンヘンで生まれ、ハノーファー音楽院でヴァイオリン、ピアノ、指揮を学ぶ。チェリビダッケ、マイヤーに師事。86年にドイツ音楽評議会の指揮者コンクールで優勝、その翌年にボストン交響楽団の奨学金を得てタンゲルウッド音楽祭に参加し、バーンスタイン、小澤征爾に学ぶ。これまでにザールラント州立劇場、マンハイム国立劇場、リヨン管弦楽団の音楽監督、MDR ライプツィヒ放送交響楽団、バスク国立管弦楽団の首席指揮者を歴任。2021年シーズンから、台湾フィルハーモニック(国家交響楽団 NSO)の芸術顧問(22年シーズンより第6代音楽監督に就任)、ハーグ・レジデンティ管弦楽団の首席客演指揮者、インディアナポリス交響楽団の芸術顧問、オレゴン交響楽団の首席客演指揮者に就任している。
ウィーン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場などオペラでの華々しい活躍と同時に、クリーブランド管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団など世界的なオーケストラとの共演を重ねている。1997年にNHK交響楽団を指揮して日本にデビュー以後、ウィーン国立歌劇場、リヨン管弦楽団などの来日公演や、新国立劇場、二期会、PMF、水戸室内管、読売日響、大阪フィル、京都市響、都響をはじめとした数々の公演で抜群の知名度を誇っている。
レコーディング活動も活発で、NHK交響楽団、リヨン管弦楽団、MDRライブツィヒ放送響などすでに50タイトル以上のCDをリリースしている。2012年フランス芸術文化勲章・シュヴァリエを受章。現在、国立音楽大学招聘教授。



漆原 啓子 URUSHIHARA Keiko (ヴァイオリン)

1981年東京藝大付属高在学中に、第8回ヴィニャフスキ国際コンクールに於いて最年少18歳、日本人初の優勝と6つの副賞を受賞した。その翌年、本格的に演奏活動を開始。1986年、ハレー・ストリング・クァルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。日本国内の主要オーケストラとの共演のほか、リサイタル、室内楽で高い評価を得ている。国内外の音楽祭にも多数出演。2011年デビュー30周年を記念しリリースした、自身初となる「J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」(日本アコースティックレコーズ)は、レコード芸術特選盤に選ばれる。2014年に漆原朝子と録音した姉妹デュオCD「無伴奏ヴァイオリン・デュオ」は平成26年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞。2017年にヤコブ・ロイシュナーと「モーツァルト：ヴァイオリンとピアノのための作品全集」をリリースし、レコード芸術特選盤に選ばれる。また、平成29年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞。同年9月15日に浜離宮朝日ホールで行われた同CDリリース記念リサイタルは、各方面から好評を博した。常に第一線で活躍を続け、安定した高水準の演奏は音楽ファンのみならず、指揮者、オーケストラ・メンバー等の音楽家の間でも非常に高い信頼を得ている。現在、国立音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。



藤森 亮一 FUJIMORI Ryoichi (チェロ)

1963年京都に生まれる。11歳よりチェロを学び始める。京都市立堀川高等学校音楽科(現、京都市立京都堀川音楽高等学校)を経て、1982年東京音楽大学に特待生で入学。同年第29回文化放送音楽賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。1986年第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門・斎藤秀雄賞を受賞。1987年、NHK交響楽団に入団。1990年ドイツに留学し、ミュンヘンでさらに研鑽を重ねる。これまでに、故・徳永兼一郎、上村昇、河野文昭、ワルター・ノータスの各氏に師事。1998年モルゴア・クァルテットとして村松賞を受賞。1999年東京オペラシティにおいて無伴奏チェロ曲によるリサイタルを行う。
また同年カザルスホールにて「P・カザルスに捧げるチェロ連続演奏会」に出演し、いずれも絶賛を浴びる。2000年より、チェロ四重奏「ラ・クァルティナ」を結成。演奏会のチケットが入手困難なほど、好評を博している。2007年度第26回京都府文化賞功労賞を受賞。2010年度モルゴア・クァルテットとしてアリオン賞を受賞。現在、NHK交響楽団首席奏者を務めるかたわら、ソロやアンサンブルの領域でも意欲的な演奏を繰り返し、国内外のアーティスト等と活発に共演。レコーディング活動においては、ソロはもちろん、さまざまなアーティストから絶大な信頼を得ている。また、東邦音楽大学特任教授、国立音楽大学客員教授を務め後進の指導にあたっている。

【創立100周年記念募金はこちら】

音楽文化人育成と音楽芸術振興を通じた社会への貢献に向けて皆様のご支援をお願いします。

<https://go.kifu.fm/kunitachi/>
国立音楽大学経理課(寄付金係)

TEL: 042-535-9528



【本演奏会に際して】

- 本演奏会は、感染拡大予防対策を行いながら開催いたします。ご来場前に本学公式 Web サイト、会場の公式 Web サイトより注意事項をご確認の上、お越しください。
- 本演奏会は、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVD など各媒体で公開されることをあらかじめご了承ください。
- 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
- やむを得ない事情での公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル、変更、払い戻しはできません。
- やむを得ない事情により、曲目・出演者・会場・日時等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 会場内での写真撮影、録音、携帯電話の使用は固くお断りします。